

表5 肺がん検診の過剰診断に関する研究結果まとめ

モダリティ	研究種別	研究名	報告年	文献番号	研究群	対照群	対象	比較した検診方法	介入期間	観察期間	対照群に対する 検診群の超過 肺癌罹患数(A)	検診群の 検診発見による 肺癌罹患数(B)	検診群の 全研究期間中の 肺癌罹患数(C)	過剰診断P _S (A/B x 100)	過剰診断P _A (A/C x 100)
CT以外	無作為化比較試験	PLCO	2011	19	77,445	77,456	55-74歳 男女 喫煙歴問わず	年1回の直接胸部X線 vs. なし	3年	13年	76	307	1696	24.75%	4.48%
	総説 (無作為化比較試験)	Mayo Lung Project	2013	23	4,618	4,593	45歳以上 男性 喫煙者	年3回の直接胸部X線および喀痰細胞診 vs. なし	6年	1-5.5年	46	90*	206	51.11%	22.33%
			2013	24							46	133**	206	34.58%	22.33%
*: 研究外X線発見を検診発見に含まない **: 研究外X線発見を検診発見に含む															
モダリティ	研究種別	研究名	報告年	文献番号	研究群	対照群	対象	比較した検診方法	介入期間	観察期間	対照群に対する 検診群の超過 肺癌罹患数(A)	検診群の 検診発見による 肺癌罹患数(B)	検診群の 全研究期間中の 肺癌罹患数(C)	過剰診断P _S (A/B x 100)	過剰診断P _A (A/C x 100)
CT	系統的レビュー	4研究	2016	25	N/A	N/A	N/A	N/A						10.99-25.83%	
	系統的レビュー	12研究	2021	16	N/A	N/A	N/A	N/A						0-67.2%	
	無作為化比較試験	DANTE	2015	10	1,264	1,186	60-74歳 男性 喫煙指数400以上	(両群に最初にX線検査と喀痰細胞診実施後) LDCT vs. なし	5年	8.35年	32	67	104	47.76%	30.76%
	無作為化比較試験	ITALUNG	2017	11	1,613	1,593	55-69歳 男女 喫煙指数400以上	LDCT vs. なし	4年	10年	-4	38	67	なし	なし
	無作為化比較試験	DLCST	2018	26	2,052	2,052	50-70歳 男女 喫煙指数400以上	LDCT vs. なし	5年	9年	43	64	96	67.18%	44.79%
	無作為化比較試験	NLST	2014	22	26,722	26,730	55-74歳 男女 喫煙指数600以上	LDCT vs. 直接胸部X線	3年	6.5年	120	649	1089	18.50%	11.00%
			2019	3							20	649	1701	3.08%	1.17%
無作為化比較試験	NELSON	2020	4	6,583	6,612	50-74歳 男性 喫煙指数300/375以上	LDCT vs. なし	5.5年	10年	40	203	344	19.70%	11.60%	